

佐久税務署長賞

『税金ついている？ いるない？』

川上村立川上中学校 三年 由井 海吏

みなさんは「税金」というものが、大切なものだと思いますか。私は必要だと思わなかつたです。それはある時、買い物をし、三千円ぴつたりで本が買えると思つていましたが、税金がかかり、三千円では買えなかつたという経験がありました。そんな時私は、「税金なんていらないじやん、減税してほしい…」そんな風に思つていました。ですが、私の考えが変わつたことをお話しします。

それは、四年前の台風十九号で家に近い橋が壊れてしまつたことでした。壊れてすぐに工事が始まつて、今では安全に通れるようになりました。私はだれがお金を出しているのか疑問に感じ、お父さんにきいてみると、「全員が支払つた税金で国が直してくれているんだよ」と言われました。その時私は、税金の使い道をまのあたりにして、少し嬉しくなりました。なぜなら、自分も家族も、お金もちの人もみんな平等に支払つたお金で、公共のもの

を直して、みんなが便利になり笑顔になつていていたからです。そんな時、ニュースで国会の議員が脱税している、というものを見ました。これを見て私は、「税」という平等なものを見ました。どうなのか、国会の議員として恥ずかしくはないのか、と思つました。この世界で生活していく上では、必ず支払うもの、そんな税金を大切に使つてほしいと思いました。税金つて大変だけど、年をとるにつれてもらえる「年金」だつたり、救急車、消防車、道などの修理をすることは、本当にありがたいものなんだと思つたし、そこに関わっている自分も、うれしいなど感じました。

「税金」イコール「平等」ということの関係だと思いました。しっかりと全員が税を納めることによつて保つてている世界もあると思います。これ以上、税金が上がってほしくはないけれど、これからも公共のものが税金でつかえるという世界であつてほしいし、それによる笑顔な人が増えると思います。税金が必要ないと思つてゐる人がいたら、私は伝えたいです。あなたの学校も、通学してくる道がキレイなのも、救急車がすぐに来てくれることも、税金が使われているんだよ、と。そして正しい税金の使い道をしてくれることを願つています。